



International Institute
of Business Analysis

CCBA™

**Certification of Competency in Business
Analysis™ (CCBA™)
Handbook**

CCBA™ハンドブック

2011年1月

※ IIBA® 日本支部からのご注意

- 本書は、IIBAの本部のWebサイトからダウンロードできる“CCBA™ Handbook”（2011年1月版）を、本部の許可を得てIIBA日本支部が翻訳した参考訳です。本部のWebサイトの情報は予告なく変更されることがありますので、最新情報は必ず本部のWebサイトで確認してください。
- 本文書では、以下のように表記しています。
CCBA™認定 (CCBA™ certification) : 出願書類審査とCCBA™試験の両方を表す。
CCBA™試験 (CCBA™ examination) : 出願書類審査をパスした後の試験のみを表す。

目次

目次	2
1.0 当ハンドブックについて.....	4
2.0 IIBA について.....	4
2.1 IIBA のビジョン	5
2.2 IIBA のミッション.....	5
2.3 公平かつ公正のポリシー	5
3.0 IIBA の <i>BABOK</i> ® ガイドの概要.....	5
4.0 CCBA™ 認定について.....	5
4.1 CCBA™ 認定とは.....	5
4.2 ビジネスアナリシスの実践者の定義.....	6
4.3 CCBA™ 認定プログラムの概要.....	6
4.4 CCBA™ 認定のメリット	6
5.0 CCBA™ 認定の資格要件	7
5.1 業務経験要件	8
5.2 知識エリア要件	11
5.3 学歴要件.....	11
5.4 専門能力開発要件	11
5.5 推薦状要件.....	12
6.0 CCBA™ の出願と試験の流れ.....	12
6.1 ステップ 1 : CCBA™ 認定に出願し、出願料を支払う	13
6.2 ステップ 2 : 受験料を支払う	14
6.3 ステップ 3 : 受験登録を行う	15
6.4 ステップ 4 : 試験の準備をする	16
6.5 ステップ 5 : 試験を受ける	17
7.0 CCBA™ 認定の授与.....	18
8.0 CCBA™ 試験の再受験.....	18

9.0	CCBA™ 認定の維持と資格更新	18
9.1	CCBA™ 認定の停止または取消し.....	19
10.0	応募者と CCBA™ 資格保有者の情報に対する監査	19
11.0	異議申し立ておよび苦情への対応	19

1.0 当ハンドブックについて

当ハンドブックの目的は、International Institute of Business Analysis（以下、IIBA®）の組織と、Certification of Competency in Business Analysis™（以下、CCBA™）認定プロセスを理解するために必要な情報を、CCBA™認定の応募者および受験者に提供することです。

2.0 IIBA について

IIBA®は、ビジネスアナリシスの啓蒙を行う非営利団体です。そのミッションは、ビジネスアナリシスの実践に関する標準の開発と保守、およびビジネスアナリシスを実践する人々の認定と承認を行うことです。IIBAはビジネスアナリシスの実践者を公式に認定する初の組織です。

ビジネスアナリシスの社会における認知度の向上と、有能な実践者の認定を進めるために、IIBAは次のことを行っています。

- ビジネスアナリストの価値とその貢献について、一般への周知と認知度の向上
- Business Analysis Body of Knowledge®（以下、**BABOK**®）ガイドの定義と保守
- ビジネスアナリシスの資格保有者に必要なスキルと能力の識別
- 教育・訓練と専門能力開発の標準の定義
- 研修機関の識別と承認
- 有能なビジネスアナリストの公的な認定と承認

IIBAでは会員に対して、ビジネスアナリストとしての能力向上とキャリアの育成をサポートするさまざまな便益を提供します。その一部を次に紹介します。

- **BABOK**® *Guid v2.0*（英語版）の無償利用
- 300冊以上のオンライン・ライブラリの無償利用
- IIBA各種認定試験の受験料の割引
- IIBAコミュニティ・ネットワークを通じた情報共有と交流の場
- IIBAの月刊ニュースレター“BA Connection”や、電子掲示板“Quick Tips for Better Business Analysis™”（ビジネスアナリシスに役立つヒント）など、毎月更新される刊行物への会員専用アクセス
- 現地のIIBA支部への参加資格
- Business Analysis Competency Model（英語版）の無償利用
- 多彩な開発トピックで開催されるIIBA Webinar（オンラインセミナー）への参加
- キャリアセンターによるジョブサーチ
- Agile Guid of **BABOK**®（英語版）の無償利用
- **BABOK**® Learning Guide（英語版）の無償利用

IIBAは2003年10月に組織として立ち上がり、2004年3月に初めて開催した年次総会で、正式に創設されました。カナダのトロントに本部を置き、Webサイトwww.theiiba.orgを運営しています。

2.1 IIBAのビジョン

IIBAのビジョンは、ビジネスアナリシス専門家のために世界で指導的な団体となることです。

2.2 IIBAのミッション

IIBAのミッションは、ビジネスアナリシスを実践するための標準、および実践者を認定するための標準を開発し、それを保守することです。

2.3 公平かつ公正のポリシー

IIBAは、認定と審査の実施・監視・評価・保守を、公平かつ公正に行うポリシーとプロセスを定めています。IIBAは、米国障害者差別禁止法を含むすべての適用法規制を順守しています。

3.0 IIBAのBABOK®ガイドの概要

BABOK®ガイドは、ビジネスアナリシスという職業の専門性に含まれる知識を集大成したものです。ここには、今日広く認知されているプラクティスが反映されています。**BABOK®**ガイドを定義して、さらに拡張するのは、それを日々の業務で活用しているビジネスアナリシスの実践者です。**BABOK®**ガイドは、ビジネスアナリシスの知識エリアと、それに関連するアクティビティとタスク、さらに、それを有効活用するために必要なスキルを記述しています。

BABOK®ガイドは、日々成長し、進化しています。したがって、各リリースは完全な知識体系に一歩ずつ近づくものであると考えてください。フィードバックを受け、一般に認知されているプラクティスの変化に応じて、定期的に拡張していきます。ビジネスアナリシスに関する特定のテクニックを**BABOK®**ガイドで言及する際は、そのテクニックが実証されているか、一般的に受け入れられているか、広く使われているか、などを基準として採用します。こうして作成された**BABOK®**ガイドは、ビジネスアナリシスの専門知識の参考資料であると同時に、CCBA™認定の基礎となるものです。

BABOK®ガイドは、6つの知識エリアと基礎コンピテンシから構成されています。詳細については、Webサイトの**BABOK®**の項目を参照してください。

4.0 CCBA™認定について

4.1 CCBA™認定とは

専門性の認定には多くの定義がありますが、一般的には、認定機関が個人の知識、経験、スキル、専門知識を承認することです。所定のスキルや知識をもつこと実証して能力を証明し、それが公式に承認されると、認定されたこととなります。

ビジネスアナリシス専門家の認定は、ビジネスとITに関わるプロジェクトの中で重要性を増しています。そして、必要となる専門知識の範囲も深さも拡大を続けています。

CCBA™認定プロセスでは、ビジネスアナリシスの資格保有者となるために必要な経験、知識、

能力を、IIBAが指定する資格要件として提示しています。

4.2 ビジネスアナリシスの実践者の定義

ビジネスアナリシスの実践者は、クライアントとステークホルダーのビジネスニーズを識別して、ビジネス上の課題に対処するソリューションの決定に貢献する役割を果たします。

さらに、要求の開発とマネジメントの責任を負います。これを具体的に言うと、ビジネスや組織、業務運用に関する要求を引き出し、分析し、その妥当性を確認して、文書化することです。ソリューションは、ビジネスアナリシスの実践者が前もって決めるのではなく、ビジネス上の要求だけを基準にして決めるものです。多くの場合、ソリューションはシステム開発のコンポーネントから構成されますが、プロセス改善や組織変革を含むこともあります。

ビジネスアナリシスの実践者は組織の重要なファシリテータであり、クライアントとステークホルダーとソリューションチームの間の架け橋となります。ビジネスアナリシスは、財務分析やプロジェクトマネジメント、品質保証、組織開発、テスト、教育・訓練、文書開発とは異なる作業です。しかし組織によっては、ビジネスアナリシスの実践者がこうした関連機能の一部または全部を実施することもあります。

4.3 CCBA™認定プログラムの概要

CCBA™資格保有者とは、ビジネスアナリシスのキャリアを積んだことを認められた人です。CCBA™資格保有者の専門的業務には次のようなものがあります。

- ビジネスアナリシス
- システムアナリシス
- 要求アナリシスおよび要求マネジメント
- プロセス管理
- コンサルティング

CCBA™認定プログラムは、個人の能力認定の規格であるISO 17024に厳密に準拠するように設計しました。当プログラムも、ISO 17024の認証を取得する予定です。

応募者においては、出願プロセスは受験のための予備審査プロセスであることをご承知おきください。すなわち応募者は、出願要件を十分に理解し、当ハンドブックでこのあと説明する出願プロセスに精通する必要があります。

CCBA™認定は、基本的なビジネスアナリシスのスキルがあり、一定の経験をもつビジネスアナリストを対象としています。現在、CCBA™試験は英語だけで実施していますが、将来は他の言語にも対応する予定です。

CCBA™認定を受けようとする応募者は、IIBAの会員である必要はありません。ただし、IIBA会員は受験料の割引が受けられます。

4.4 CCBA™認定のメリット

CCBA™認定を取得する個人には、次のようなメリットがあります。

- ビジネスアナリシスの原則と実践における専門能力が得られる。

- 承認された専門家のグループに参加できる。
- 専門家の仲間や経営陣から専門的な能力を認められる。
- ビジネスアナリシスの専門的な実践者として認められることにより、さらなるキャリア向上の道を開くことができる。
- ビジネスアナリシスのキャリアにおける重要な節目を築き、個人として満足感を得られる。
- 業務全体のパフォーマンスを高め、あいまいな取り組みをなくし、市場機会を大きくする。
- 認定を取得し維持する過程で、自分の活動の質と精度を高めていくことができる、
- ビジネスアナリシスの熟練した専門家として公式に認定されることで、所得の増加を獲得しやすい。
- ビジネスアナリシスのキャリアを培ってきたことを認められ、さらに研鑽を積むように支援を受ける。

CCBA™資格保有者を雇用する組織には、次のようなメリットがあります。

- 能力向上とその認定の機会を社員に提供できる。
- 顧客、競合他社、社員、投資家に、業界標準のビジネスアナリシスを実践していることを明示できる。
- 定期的な審査プロセスによって、社員の責任感、意欲、モチベーションを高揚できる。
- 専門知識とスキルがあると認められた個人が、**BABOK®**ガイドの示すビジネスアナリシスのプラクティスを確立し、実際に行う。
- 業界標準のテクニックを駆使するビジネスアナリシスの専門家によって、高い効率と一貫性のもとで、より高い信頼性と品質を備えた成果を得られる。
- クライアントやビジネスパートナーに能力のあるビジネスアナリストを紹介できる。
- ビジネスアナリストの専門能力を育成し、認定の機会を与えることができる。
- 成功するプロジェクトに欠かせない要素として評価を高めつつあるビジネスアナリシスという分野に熱心に取り組んでいる姿勢を明示できる。

5.0 CCBA™認定の資格要件

CCBA™認定に出願するには、応募者は本章で述べる資格要件を満たさなければなりません。

具体的な資格要件は次のとおりです。

- 過去7年以内に、**BABOK®**ガイドで定義されるビジネスアナリシスの業務に3,750時間以上従事した経験がある。
- 6つの知識エリアのうち、2つの知識エリアにおいて900時間以上、または4つの知識エリアにおいて500時間以上従事した経験がある。
- 過去4年間で21時間以上をビジネスアナリシスの専門能力開発に充てている。
- 応募者の上司、クライアント、またはCBAP®資格保有者のいずれかによる2通の推薦状

- がある。
- 行動規範に同意の署名をしている。

5.1 業務経験要件

過去7年以内に、**BABOK**[®]ガイドで定義されている知識エリアおよび基礎コンピテンシに沿ったビジネスアナリシスの業務に3,750時間（約2年半）従事した経験があること。

過去7年とは、出願日から遡って数えた年数とします。ビジネスアナリシスの業務経験とは、応募者が直接実施した活動、あるいは、他者の実施を支援した活動であり、**BABOK**[®]ガイドの知識エリアおよび基礎コンピテンシに沿った活動でなければなりません。

次の活動は、要件として認められます。

- ビジネスアナリシスの実践（例：要求の収集、要求文書の作成など）
- ビジネスアナリストに対する指導で、ビジネスアナリシス活動に関するもの（例：ビジネスアナリストとともに実施した要求収集プロセスの計画、要求文書のレビューなど）

次の活動は、要件として認められません。

- ビジネスアナリシスの活動を直接に監督しない管理（例：リソース管理、進捗報告、パフォーマンス管理など）
- ビジネスアナリシスの教育・研修コースの講師
- 要求のツールやソフトウェアの販売
- プロジェクトマネジメント
- テスト（例：テストスクリプトの作成や実行、テストの進捗報告、テスト方針・テスト計画の作成など）
- プログラミング

上記は、すべてを列挙したものではなく、あくまでもガイドラインとして示したものです。応募者の業務経験は、ケース・バイ・ケースで個々に審査します。

次の表に示した例は、出願審査プロセスにおいてビジネスアナリストの業務経験要件を満たすと認められるものと、認められないものです。ここに示したものがすべてではありません。出願書類に業務経験を記入する際の注意事項は、下記をご覧ください。

BABOK®ガイドの知識エリア	要件を満たす業務経験	要件を満たさない業務経験
ビジネスアナリシスの計画とモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ● 要求計画の作成とプロジェクト計画への組み入れ ● 要求リスクの識別と文書化 ● プロジェクトの進捗報告に対するインプットとなる要求進捗報告の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト計画の作成 ● プロジェクトのリスクの識別
引き出し	<ul style="list-style-type: none"> ● 要求収集ワークショップのファシリテーション 	
要求のマネジメントとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 要求パッケージのウォークスルーとサインオフ ● 役員に対する要求のプレゼンテーションの準備と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト週次報告の作成 ● 設計ウォークスルーの実施
エンタープライズアナリシス	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネス目的の決定 ● ビジネスアーキテクチャの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト憲章の作成 ● システムアーキテクチャやアプリケーションアーキテクチャの構築
要求アナリシス	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能要求 ● 非機能要求 ● ユーザー要求 	<ul style="list-style-type: none"> ● SLA（サービスレベル・アグリーメント）の作成 ● ソリューション設計と文書化
ソリューションのアクセスメントと妥当性確認	<ul style="list-style-type: none"> ● 設計文書のレビュー、および要求との整合性の確認 ● テスト方針と、テスト計画、テストケースのレビュー、および要求との整合性の確認 ● 品質保証とテストチームの支援 ● 欠陥のレビュー、およびクライアントとの共同作業による以下の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 修正の優先順位 ・ 手作業による回避策の採用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設計文書の作成 ● テスト方針、テスト計画、テストケースの作成 ● テストの実行 ● 欠陥の追跡とマネジメント

業務経験を記入する際の注意事項

1. 業務経験要件は、プロジェクト単位に、出願書類に次のように記入します。
 - 同一年に複数の小規模プロジェクトに従事した場合は、1プロジェクトにまとめる。そして、“Description”（プロジェクトの概要）の欄に、その旨を明記する。
 - プロジェクトは、最新プロジェクトを一番上にして、日付の新しい順に並べる。
 - 過去7年以内の、少なくとも3,750時間のビジネスアナリシスに関連する業務を、受験資格要件を満たすように記述する。
 - 履歴書は、業務経験要件としては認めない。
 - プロジェクトごとに、ビジネスアナリシスの業務経験時間の合計数を記入する。この時間は、業務経験の要件（ビジネスアナリシスの業務経験が3,750時間以上、かつ6つの知識エリアのうち2つの知識エリアにおいて業務経験が900時間以上、または4つの知識エリアにおいて業務経験が500時間以上）に充当される。ただし選択したビジネスアナリシスの業務経験時間やタスクは、**BABOK**®ガイド v2.0に沿ったものでなければならない。
 - プロジェクトごとに、上表のタスクの一覧を見て、記入したタスクが**BABOK**®ガイド v2.0に沿っていることを確認する。6つの知識エリアのそれぞれについても同様に確認する。ただしタスクとして選択してよいのは、自身でタスクを実行した場合、あるいはタスクの実行に際して他のビジネスアナリストを指導または助言した場合に限る。知識エリアごとに、選択したタスクに費やしたビジネスアナリシスの業務経験時間を割合で示すこと。すべての知識エリアの割合の合計は、1つのプロジェクトにおいて100となる。
 - 注意：業務経験として選択したタスクが**BABOK**®ガイド v2.0に沿ったものではないと判定された場合、その時間数はビジネスアナリシスの業務経験時間の合計から差し引かれる。その結果、ビジネスアナリシス業務経験に必要な3,750時間に達しなくなるか、あるいは、6つの知識エリアのうち2つの知識エリアで900時間以上、または4つの知識エリアで500時間以上という業務経験の要件を満たさなくなることがある。この場合、出願は却下される。
2. 出願審査の際に、応募者が選択した業務経験が**BABOK**®ガイドに沿ったものではないと判定された場合、その時間数は以下のように計算して差し引かれます。
 - a) 記入された該当の業務経験の知識エリアの比率（パーセント）に、該当プロジェクトの業務経験の合計時間を掛け合わせて、該当知識エリアのビジネスアナリシス業務経験時間とする。
 - b) そこから、該当知識エリアの全体の業務経験のうち無効な業務経験（**BABOK**®ガイドに沿っていないもの）に相当する比率（パーセント）の分を差し引き、その知識エリアの有効なビジネスアナリシス業務経験時間とする。
 - c) すべての知識エリアで、これを繰り返す。
 - d) すべてのプロジェクトの知識エリア内の有効なビジネスアナリシス業務経験時間合計を計算して、6つの知識エリアのうち2つの知識エリアで900時間以上、または6つの知識エリアのうち4つの知識エリアで500時間以上という業務経験の要件を満たしていることを確認する。（この要件に関しては、次節を参照）
 - e) 最後に、すべてのプロジェクトの有効なビジネスアナリシス業務経験時間合計を計算して、

3,750時間以上の業務経験という要件を満たしていることを確認する。

5.2 知識エリア要件

BABOK®ガイドに沿って、6つ知識エリアのうち2つの知識エリアで900時間以上、または6つ知識エリアのうち4つの知識エリアで500時間以上のビジネスアナリシスの業務経験が必要です。

注) 知識エリアごとに求められる時間は、上記の業務経験要件で求められる3,750時間以上の中に含まれます。この要件によって、知識エリアをまたがる幅広い業務経験を持つことを確認します。

5.3 学歴要件

高校卒業以上、またはそれと同等以上の資格を保持すること。

注) 高等学校以降の学歴に対して、業務経験の年数を減らすことはありません。

5.4 専門能力開発要件

過去4年間で21時間以上のビジネスアナリシスの専門能力開発をしていること。

専門能力開発は、出願日までに完了している必要があります。さらに、以下の基準を満たすものでなければ認められません。

1. 専門能力教育は、正式な大学コースと同様にモデレートまたはファシリテートされていなければならない（つまりそのセッションには、モデレータ、あるいはその教材を通してグループや個人を主導できるファシリテータまたはインストラクタが必要である）。
2. 測定可能な学習目標が必要である。またこれらは（振る舞いを変えたり、スキルを向上させたりする点で）ビジネスアナリストの役割に直接適用できるものでなければならない。
3. 特定のテーマに関する単なるプレゼンテーションであってはならない。
 - a. 受講生には、その題材と向き合う機会（質問できる、学習を意味のあるものにするなど）が必要である。
 - b. a.に加えて、そこで紹介するタスクや目標を実践する機会が必要である。
4. 対象分野は、**BABOK**®ガイドに対する場合と同様に、ビジネスアナリシスやその基礎コンピテンシと直接関係するものでなければならない。

注) IIBAの認定教育プロバイダ（Endorsed Education Provider: EEP™）が提供するプログラムなどのIIBA認定コースは、上記の基準を満たすことが事前に確認されています。そのため、認定に必要なビジネスアナリシスの専門能力開発要件を満たすために必要な21時間に充当できます。

授業や参加時間の1時間が、専門能力開発の1時間に相当します。専門能力開発の時間の端数は、1時間単位の数の後に15分単位で加えて報告できます。1時間に満たない専門能力開発は、申請の対象外とします。

※IIBA日本支部からのご注意：IIBA日本支部で主催するセミナーや説明会は、この時間に充当できません。

5.5 推薦状要件

応募者の上司、クライアント（内部、外部）またはCBAP[®]資格保有者のいずれかによる2通の推薦状があること。

さらに、次の要件が必要です。

- 現在のコンタクト先1名を含まなければならない。
- 応募者と知り合って6ヵ月未満の者を推薦者とすることはできない。
- 上司の定義は、応募者の年間の業績評価を行う責任をもつ者とする。
- プロジェクトマネジャーを推薦者とすることはできない。ただし、応募者の上司である場合は除く。その場合は、推薦状に両方の役割を果たしていることを明記すること。記載がない場合は、その推薦状は無効になる。
- 出願審査の対象となる推薦状は2通だけである。
- 応募者の責任において、期日までに確実に推薦状を提出しなければならない。推薦状は、受験日を考慮して、また、必要に応じて推薦者へのフォローアップを行ったうえで、余裕をもって提出する。

6.0 CCBA[™]の出願と試験の流れ

ステップ1：CCBA[™]認定に出願し、出願料を支払う

ステップ2：受験料を支払う

ステップ3：受験登録を行う

ステップ4：試験の準備をする

ステップ5：試験を受ける

各種費用一覧

出願料と受験料

費用の種別	IIBA会員	非会員
出願料（返金不可）	125米ドル	125米ドル
受験料	325米ドル	450米ドル

その他の費用

費用の種別	IIBA会員	非会員
受験キャンセル料 (CBT試験の場合)*	50米ドル	50米ドル
受験キャンセル料(ペーパー試験の場合)	55米ドル	55米ドル
再受験料	250米ドル	375米ドル
再採点料	65米ドル	65米ドル

* Castle Worldwide社のオンライン受験登録システムの指示に従って、受験キャンセル料を支払うこと。

注意)

1. どの費用も支払いは米ドルで行う。カナダ居住者またはGST/HST登録者には、GST/HST（物品サービス税）が加算される。
2. 出願料は審査の結果如何にかかわらず返金されない。
3. 手数料が追加で発生する場合がある（この後の節で説明する）。
4. 支払いの手段としては、VISA、MasterCard、PayPal、小切手、国際為替がある。
5. 小切手または国際為替で支払う場合、下記宛先まで送付する。

Certification
3605 Sandy Plains Road, Suite 240-193
Marietta, GA 30066 U.S.A.

機密情報の保護

IIBAでは、CCBA™認定の出願書類と試験成績、その他CCBA™認定プログラムに関わるすべての情報を、機密情報として取り扱います。応募者の同意なしに第三者に情報を公開することはありません。

第三者に対して試験の成績証明書を発行することを要請する場合は、どの成績を公開するかとともに、公開先の個人または組織を指定して、IIBAに文書で要請する必要があります。IIBAの機密保護ポリシーに対する違反は、懲戒処分の対象となります。IIBA規約でこれを規定しています。

公開を必要とする場合は、上記宛先までご請求ください。

6.1 ステップ1：CCBA™認定に出願し、出願料を支払う

CCBA™資格保有者となるためのプロセスは、次のとおりです。

1. 第5章に記載した受験資格要件を満たしていることを確認する。
2. オンラインで、CCBA™出願フォームに入力する（www.theiiba.orgを参照）。
3. 応募者がCCBA™資格保有者にふさわしいことを証明できる2人の専門家を推薦者として決める。オンライン出願システムが推薦者に自動的に電子メールを送信し、出願システムにログインして推薦状の処理を完了するように推薦者に要請する。
4. CCBA™の行動規範を順守することに同意する。これは、オンラインの出願手続きに組み込まれている。
5. オンライン出願の画面の内容を控えとして印刷する。
6. 次のものを提出（送信）する。

- a. オンライン出願フォーム記入内容一式
 - b. 出願料
IIBAの会員・非会員を問わず、どの応募者も、出願料は**125米ドル**である（カナダ居住者にはGST/HST（物品サービス税）を加算）。オンライン出願の画面を通じてクレジットカードで支払うか、または“IIBA”宛の小切手または国際為替を送付する。出願料は審査の結果如何にかかわらず返金されない。
7. オンライン出願の画面に、出願内容がIIBAに送信されたことを示すメッセージが表示される。
 8. IIBAでは、出願内容が揃っていること、および、CCBATM認定の資格要件を満たしていることを審査する。そして出願内容の受信後21営業日以内に、IIBAから応募者に、出願の審査結果を電子メールで通知する。
 9. 出願が受理された場合は、その時点でCCBATM試験の受験資格を得る。
注）応募者は、出願が受理されてCCBATM試験の受験資格を得たことを通知する電子メールを受領した日から1年以内に、CCBATM試験に合格しなければならない。受験資格が失効しないように、応募者の責任において注意すること。
 10. 出願が却下された応募者には、CCBATM試験の受験資格はない。出願が受理されなかった理由は、審査結果を通知する電子メールに記載されている。出願時に受験料も支払っていた場合には、応募者の申し出に応じて受験料が返金される。応募者に再度出願する意思があれば、その際の受験料に充当することもできる。応募者は、出願の却下を通知する電子メールを受領してから3ヵ月を経過した後で、却下理由を修正のうえ再度出願できる。応募者は、出願書類の却下という審査結果に対して異議を申し立てることもできる。異議申し立てをする場合は、電子メールでcertification@theiiba.orgへ連絡する。

6.2 ステップ2：受験料を支払う

受験料は、**IIBA会員が325米ドル、IIBA非会員が450米ドル**です（カナダ居住者はGST/HSTを加算）。IIBA会員料金での支払いは、応募者が出願時に会員である場合に限りです。それ以外の場合は、非会員料金を支払ってください。これは、試験を受験する代金であり、試験に合格しなかった場合でも、受験料は返金しません。

身体障害その他の理由により試験を受ける能力に問題がある場合は、CCBATM試験の実施手続きに対して特例を申し出ることができます。この要請は妥当なものであることが必要で、CCBATM試験の正当性や信頼性を損ねるものであってはなりません。受験に際して特別な措置が必要な場合は、受験登録および支払いフォームの該当箇所に記入してください。こうした措置に多くの時間がかかる場合は、IIBAに事前に申し出ることも可能です。

受験料の支払いには次の方法があります。

1. 小切手または国際為替で支払う場合は、宛名を“IIBA”とし、13ページに記載したIIBAの所在

地に送付する。“Exam Fee Form”（試験受験料フォーム）をダウンロードして記入のうえ、同封すること。出願が却下された場合は受験料の返金を申し出ることができ、返金は小切手で行われる。

2. PayPalで支払う場合は、支払い総額の3.5%が手数料として別途必要となる。
 - a. PayPalの手数料は、IIBA会員の場合は11.38米ドル、非会員の場合は15.75米ドルである。カナダ居住者にはGST/HSTが加算される。
 - b. PayPalでの支払いを希望する場合は、certification@theiiba.orgまでメールで問い合わせる。
 - c. PayPalでの支払いに際して、“Exam Fee Form”（試験受験料フォーム）の記入や送付は必要ない。
 - d. 受験料をPayPalで支払い、出願の却下により返金を申し出た場合は、PayPal経由で返金される。

IIBAはカナダの企業です。本ガイドに記載した以外の手数料や料金をIIBAから徴収することはありません。ただし、応募者がカナダ以外に居住している場合には、追加の費用が発生する場合があります。こうした費用は、使用したクレジットカードの発行会社によって計算され、徴収され、保管されるため、IIBAが返金することはできません。費用は米ドルで課金され、クレジットカード会社が応募者の居住地の通貨に変換します。

6.3 ステップ3：受験登録を行う

受験料がIIBAに受理されたあと、次の2つの方法のどちらかを選択して、CCBA™試験の受験登録を行います。

a. 専用テストセンターでのCBT試験（コンピュータによる試験）

テストセンターの一覧は、www.theiiba.orgを参照すること。CCBA™試験の受験資格を得たことを通知する電子メールを応募者が受け取ってから1ヶ月以内に、Castle Worldwide社から応募者宛に、受験許可を通知する電子メールが送られる（件名：Notice to Schedule CCBA™ Examination）。その電子メールに記載されているユーザーIDとパスワードを使って、受験するCBTのテストセンターと受験日をオンラインで選択して登録する。

ほとんどの専用テストセンターには受験日時の月次予定があるので、そこから選択する。北米のテストセンターの場合は、受験日の7日前までに登録する。他の地域の場合は、確実に座席を確保するために、受験日の60日前までに登録することが望ましい。応募者が居住する地域または近隣の地域が一覧にない場合は、certification@theiiba.org宛に電子メールで他の選択肢を問い合わせること。

応募者がオンラインで登録を完了すると、ほぼ即座にCastle Worldwide社から登録確認通知の電子メールが送られる（件名：IIBA-Scheduling Confirmation Notice）。この電子メールは、応募者が受験を許可されたことを示すもので、受験要領が記載されている。

b. 定期的に行われるペーパー試験

定期的なペーパー試験の予定は、www.theiiba.orgに掲載してある。出願が受理された応募者

からの受験要請に対して、座席が確保できた場合は登録され、登録内容が電子メールで通知される。受験日の約2週間前に、応募者に対してCastle Worldwide社から受験許可の電子メールが送られる。その電子メールに受験要領が記載されている。

6.4 ステップ4：試験の準備をする

以下は、CCBA™試験の対策に関するIIBAからのアドバイスです。ただし、このアドバイスに従うことが試験合格を保証するものではないことにご留意ください。

- IIBAの**BABOK**®ガイドを見直す。
- コミュニティ・ネットワークのオンライン・ライブラリで**BABOK**® *Leaning Guide*を見直す。
- IIBAのWebサイト上のFAQを見直す。
- IIBAのWebサイト上で推薦しているリソースを見直す。
- 必要に応じて教育・研修を受ける。
- 日々の業務の中で、**BABOK**®ガイドに従ってタスクを実践する機会を見つける。
- ビジネスアナリシスに関するメンターを見つける。
- 研究会に参加する。
- IIBAフォーラムでネットワークを広げる。地方のIIBA支部ミーティングに出席する。
- 入手できる学習参考書を見直す。

CCBA™試験の時間は3.5時間で、4つの選択肢の中から解答する多項選択式の問題が150問出題されます。「全般的な知識を問う問題」（たとえば、定義や基礎知識など）と、「状況分析問題」（たとえば、あるシナリオのもとではどのような行動が最適かを問う問題）とがあります。後者の場合、応募者が答えに到達するには多少の分析が必要になります。特定の種類の問題だけが出題されることはなく、Blooms分類（訳注：試験問題の分類法）の範囲を網羅しています。

CCBA™試験の出題配分は、**BABOK**®ガイドVersion 2.0に添って下表のようになっています。

知識エリア	出題の割合
ビジネスアナリシスの計画とモニタリング	20%
引き出し	13.33%
要求のマネジメントとコミュニケーション	16%
エンタープライズアナリシス	15.33%
要求アナリシス	19.33%
ソリューションのアセスメントと妥当性確認	16%

上記の割合には丸め誤差があるため、合計しても100%にはならないことにご注意ください。

6.5 ステップ5：試験を受ける

CCBA™認定プロセスの最終ステップは、応募者がCCBA™試験を受験して合格することです。CCBA™試験は、**BABOK®**ガイドに基づいた総合的な最終試験であり、ビジネスアナリシスに関する知識を客観的に測定して評価するように作成されています。

試験当日の手続き

- 定刻に到着すること。
- CBT試験では、登録確認通知に到着時間が記載されている。
- ペーパー試験では、試験開始時間の30分前から受付を開始する。少なくとも30分前には到着すること。
- 試験会場には、次のものを持参すること。
 - CBT試験を受験する場合は、受験許可通知または登録確認通知。
 - 現在の写真と署名のある身分証明書（たとえば、運転免許証、入国カード、パスポート、州発行身分証明書など）。適切な身分証明書を持たない応募者は受け付けない。
 - ペーパー試験を受験する場合は、消しゴムと尖ったHB鉛筆2本。

試験結果の通知

CBT試験の場合は、試験終了後すぐに得点わかります。応募者が解答を送信した後、数分以内に画面で結果を確認できます。

ペーパー試験の場合は、受験日から30日以内に試験結果が採点され、集計されます。この30日の直後に、試験の可否が電子メールで通知されます。

不合格だった応募者には、結果の画面に、注意を要する知識エリアに対するガイダンスが表示されます。不合格だった場合、出願が受理されて受験資格を得たことを通知する電子メールを受領した日から1年以内に1度に限り再受験できます。ただし、最終受験日から3ヵ月間は、再受験できません。

CCBA™試験に合格すると、応募者はCCBA™として認定され、CCBA™資格保有者となります。

受験キャンセルポリシー

受験日を変更する必要がある場合は、次のキャンセルポリシーを適用します。

1. CBT試験の場合

- 通知の有無にかかわらず、すべてのキャンセルに対して、Castle Worldwide社のCBT受験キャンセルポリシーによりキャンセル料金が発生する。キャンセル料金として、同社に50米ドルを支払う。
- 登録した受験日の5営業日前より後にキャンセルした場合、あるいはCastle Worldwide社にキャンセル料金を支払わない場合は、払い込み済みの受験料（325米ドルまたは450米ドル）は返金されず、全額がIIBAの予定変更手数料となる。
- 当キャンセルポリシーあるいは受験日変更ポリシーに対して、緊急事態が立証できた場合に例外が認められることがある。その場合、(919) 572-6880でCastle Worldwide社に直接連絡して援助を求めること。

2. ペーパー試験の場合は、できるだけ早くIIBAに通知すること（電子メールの宛先：certification@theiiba.org）。登録した受験日の30日前より後に通知した場合は、IIBAの予定変更手数料として55米ドル（カナダ居住者はGST/HSTを加算）が応募者に請求される。

7.0 CCBA™認定の授与

CCBA™試験に合格した応募者は、CCBA™として認定され、CCBA™資格保有者となります。さらに次のことが行われます。

- CCBA™試験結果の通知後、電子メールがもう一通届く。その電子メールで、CCBA™のロゴとレターヘッド、そしてその標準利用ガイドが送られて来る。
- この電子メールで、CCBA™の証明書と証明カードが入った認定キットがCCBA™合格者にいつ届く予定であるかが通知される。このキットは、四半期ごとに作成して送付される。
- 全CCBA™合格者の一覧をIIBAのWebサイトに公開する。合格者の氏名、住所（市、行政区・州・準州）、および認定日を掲載する。

8.0 CCBA™試験の再受験

CCBA™試験に合格できなかった応募者は、出願書類が受理されて受験資格を得たことを通知する電子メールを受領した日から1年以内に1度に限り、再受験できます。ただし、最終受験日から3ヵ月間は再受験できません。さらに次のことにご注意ください。

- 再受験料は、IIBA会員は250米ドル、IIBA非会員が375米ドルである（カナダ居住者はGST/HSTを加算）。応募者がCCBA™試験の再受験を申し込む場合には、www.theiiba.orgから“CCBA™ Exam Re-Write Registration Form”をダウンロードし、それに記入して、再受験料を添えて上述の宛先まで送付する。CCBA™試験の座席数には限りがある。座席は先着順で確保する。IIBAが再受験料を受け取るまで、受験登録は行われない。
- 1年以内に受験して合格しない場合は、再出願が必要になる（出願料と受験料の全額支払いが必要になる）。

9.0 CCBA™認定の維持と資格更新

すべてのCCBA™資格保有者は、認定を維持するために、能力維持の要件を満たす必要があります。能力維持は、認定プログラムの品質を示す重要なベンチマーク項目の1つです。CCBA™認定は、3年ごとに更新しなければなりません。

“CCBA™ Recertification Handbook”（『CCBA™ 資格更新ハンドブック』）およびCCBA™の資格更新に関する書類は、2011年にIIBAのWebサイトで公開する予定です。

連絡先情報の更新

連絡先の情報（電子メールアドレスなど）に変更があった場合、応募者の責任において、certification@theiiba.org宛に電子メールで連絡してください。認定機関に連絡先の情報の変更が伝わらない場合、情報が伝達できないこととなります。

注意) IIBAからの電子メール連絡が、不注意によりブロックされたり、スパムフィルタが迷惑メールフォルダに振り分けてしまうことがあります。資格保有者は、certification@theiiba.orgを電子メールプログラムの個人アドレス帳に登録して、IIBAからの、特に認定チームからの認定プログラムに関する重要なメッセージを確実に受け取ることができるようにしてください。

9.1 CCBA™認定の停止または取消し

IIBA 認定機関では、職業上の不正行為またはCCBA™ロゴの不正使用の報告を受けた場合、これを確認した後、CCBA™認定を任意の時期に取り消す権利を有します。さらに、認定後に監査を任意に実施する権利も有します。認定が停止または取り消された場合、支払い済みのいかなる料金も返金しません。認定取消しを受けたCCBA™資格保有者は、一定期間はCCBA™認定に再出願できません。

10.0 応募者とCCBA™資格保有者の情報に対する監査

応募者およびCCBA™資格保有者は、IIBA認定機関から、出願書類に記載した情報の正当性を確認する要求を受けることがあります。応募者およびCCBA™資格保有者の責任において、出願書類に記載した情報を証明できるものを用意して提示してください。

11.0 異議申し立ておよび苦情への対応

CCBA™資格保有者およびCCBA™認定応募者は、IIBA認定機関の行動や審査結果、または決定に異議がある場合、見直しを要求できます。IIBAは、異議申し立てや苦情を調査して、その対応を通知します。詳しくは、certification@theiiba.orgまでお問い合わせください。

試験結果の再採点を行う場合は、その費用として65米ドル（カナダ居住者はGST/HSTを加算）を前納する必要があります。